

国民健康保険システム標準化検討会

特定健診等ワーキングチーム（第1回） 議事概要

日時 : 令和5年11月16日（木）10:00～11:15

場所 : WEB会議及び日本コンピューター株式会社りそな新橋ビル6F会議室

出席者（敬称略）:

（座長）

出席 岡村 智教 慶應義塾大学 医学部衛生学公衆衛生学教室 教授

（構成員）

出席 大柳 京美 遠軽町 民生部保健福祉課 参事

出席 佐久間 博和 江戸川区 健康部健康推進課健診係 主任

出席 相原 祐平 八王子市 健康医療部成人健診課健診担当 主任

出席 倉内 ちさと 大阪市 福祉局生活福祉部保険年金課（保健事業グループ）
担当係長

出席 松田 真弓子 香南市 健康対策課保健衛生係 主幹保健師

出席 吉川 勇輔 アトラス情報サービス株式会社
福祉システム部標準化プロジェクト 係長

出席 三浦 裕和 株式会社 RKKCS 企画開発本部 ゼネラルマネージャー

出席 坂本 孝志 四国情報管理センター株式会社 営業部営業3課 課長

出席 中島 卓朗 株式会社 TKC 地方公共団体事業部
ユーザ・インターフェイス設計センター 課長

出席 関場 基浩 日本電気株式会社 社会公共ソリューション開発部門
住民情報システム開発統括部 エキスパート

出席 古閑 聡 富士通 Japan 株式会社 パブリック事業本部
社会保障・フロントソリューション事業部 マネージャー

【オブザーバー】

欠席	外圍 暖	デジタル庁デジタル社会共通機能グループ地方業務システム 基盤チーム 統括官付参事官付参事官補佐
欠席	水村 将樹	デジタル庁デジタル社会共通機能グループ地方業務システム 基盤チーム 統括官付参事官付参事官補佐
欠席	千葉 大右	デジタル庁デジタル社会共通機能グループ地方業務システム 基盤チーム 地方業務標準化エキスパート
出席	池端 桃子	デジタル庁デジタル社会共通機能グループ地方業務システム 基盤チーム 地方業務標準化エキスパート
出席	谷口 潤	デジタル庁デジタル社会共通機能グループ地方業務システム 基盤チーム 統括官付参事官付主査
欠席	丸尾 豊	総務省自治行政局デジタル基盤推進室 課長補佐
欠席	小山内 崇矩	総務省自治行政局デジタル基盤推進室 課長補佐
出席	島添 悟亨	厚生労働省大臣官房情報化担当参事官室 室長補佐
出席	巢瀬 博臣	厚生労働省大臣官房情報化担当参事官室 室長補佐
出席	宇野 薫	厚生労働省保険局高齢者医療課 一体的実施調整官
欠席	春日 潤子	厚生労働省保険局医療介護連携政策課医療費適正化対策推進室 保健事業推進専門官
	倉永 優子	厚生労働省保険局医療介護連携政策課医療費適正化対策推進室 (代理出席)
出席	酒井 友徳	厚生労働省保険局国民健康保険課 課長補佐
出席	雨宮 隼人	厚生労働省保険局国民健康保険課

【事務局】

公益社団法人国民健康保険中央会

【議事次第】

1. 開会
2. 議事
 - (1) 開催要綱について
 - (2) 国民健康保険システム国民健康保険システム標準化検討会と
本WTとの役割等の整理について
 - (3) 背景・目的について
 - (4) 検討体制・全体スケジュールについて
 - (5) 標準仕様書作成の流れについて
 - (6) 特定健診等システム標準化における論点について
 - (7) ご依頼事項について
 - (8) その他
3. 閉会

【配布資料】

資料 1 開催要綱

資料 2-1 国民健康保険システム標準化検討会開催要綱（改訂案）

資料 2-2 特定健診等 WT 開催要綱案

資料 3 特定健診等システム標準化の背景・目的

資料 4 令和 5 年度検討体制・スケジュール

資料 5 標準仕様書作成の流れ

資料 6 特定健診等システム標準化における論点案

資料 7 ご依頼事項

別紙 ご意見記入シート

別途添付 1 特定健診等システム標準仕様書【第 0.9 版】案

○議事概要

（議事（1）について）

事務局から国民健康保険システム標準化検討会、及び特定健診等 WT の開催要綱について説明が行われた。

各自治体構成員様よりご挨拶いただいた。

各ベンダ構成員様よりご挨拶いただいた。

オブザーバーの厚生労働省保険局よりご挨拶いただいた。

意見、質問等なし。

（議事（2）について）

事務局から国民健康保険システム標準化検討会と本 WT の役割等の整理について説明が行われた。

意見、質問等なし。

（議事（3）について）

事務局から背景・目的について説明が行われた。

意見、質問等なし。

（議事（4）について）

事務局から検討体制・全体スケジュールについて説明が行われた。

<質疑応答>

- ・(ベンダ構成員) 今年度末公開される標準仕様書は0.9版ということなので、来年度が1.0版となると思うが、1.0版を公開する時期の目安などは決まっているのか。
⇒(厚生労働省保険局国民健康保険課) デジタル庁の方針として、標準仕様書の改定時期は、原則8月末と1月末と決まっているため、8月末を目標とすることを考えている。

- ・(ベンダ構成員) 0.9版ということは、その標準仕様書をもとにFit&Gapを進めるということではなく、その前段階の参考資料という位置づけとなると思うがその認識でよいか。
⇒(厚生労働省保険局国民健康保険課) 0.9版をもとに先行してFit&Gapを進めていただくことも可能だと考えるが、基本的には1.0版を使用していただく認識である。

- ・(自治体構成員) 健康管理システムについては、2025年度末が適合基準日となっているが、特定健診等システムはいつになるのか。
⇒(事務局) システム標準化基本方針として、2023年4月以降の標準仕様書の改定への対応については、2025年度までの適合が制度改正等の政策上必要と判断されるものを除き、2026年度以降のシステム改修時において、標準に適合させることとされているため、2026年度以降と考えている。具体的な日付は今後のWTで検討させていただきたい。
⇒(ベンダ構成員) 2026年度以降とのことだが、健康管理等の適合基準日が2026年4月1日である。重複しないよう、4月2日以降としてほしい。
⇒(厚生労働省大臣官房情報化担当参事官室) 制度として、4月2日以降の日付となる認識である。

(議事(5)について)

事務局から標準仕様書作成の流れについて説明が行われた。
意見、質問等なし。

(議事(6)について)

事務局から特定健診等システム標準化における論点について説明が行われた。

<質疑応答>

- ・(ベンダ構成員) 論点 No6 過去データについて、過去5年度分の管理を想定することのだが、それ以上持つことも可能等、方針はあるのか。
⇒(事務局) 具体的な方針はWTで意見を伺いながら決定したいと考えている。

- ・(ベンダ構成員) 特定健診受診結果通知票について、第4期で表記が変更・追加される部分がある。0.9版案のレイアウトは第4期の内容となっているが、過年度分も新しい様式に合わせるという認識でよいか。

【表記が変更・追加される部分】

- ① GOT (AST) /GPT (ALT) 【3期】がAST (GOT) /ALT (GPT) 【4期】に変更となっている
- ② 中性脂肪の項目が空腹時中性脂肪と随時中性脂肪とに分かれている【4期から】
⇒(座長) 医学的には新しいものに合わせる形でよいと考えるが、テクニカルな方針について厚労省で持ち帰って確認をしてほしい。
⇒(厚生労働省保険局医療介護連携政策課医療費適正化対策推進室) 了解した。

※後日確認の結果を以下に記載する。

ご質問いただいた①②について、健康局にも確認した上で以下回答する。

- ①については、国際的な名称の変更に合わせたもので臨床的意義は変わらないので、同じものとして扱っていただいて差し支えない。(ASTとGOT/ALTとGPT)
- ②については、基本的に健診実施機関(・保険者)で判断いただいて差し支えない。健診実施機関等において当該前年度データを保有していればそのデータを入力いただければ良いし、無ければ「—」や空欄等にて対応されるものと思料する。

(議事(7)について)

事務局から標準仕様書案等に対するご意見の依頼について説明が行われた。
意見、質問等なし。

(議事(8)について)

全体を通しての確認がされた。

<質疑応答>

- ・(オブザーバー) 特定健診等システム標準仕様書は国民健康保険システムの一部とするとのことだが、国保と後期が別の部署の場合、後期の部署で後期高齢者健診のみシステムを使いたい場合はどのようになるのか。
⇒(事務局) 特定健診・特定保健指導・後期高齢者健診をそれぞれサブユニットとして定義するため、後期高齢者健診のサブユニットを調達いただくことを想定している。

以 上